2012/11/29

「富山赤十字病院ロビーコンサート」

どういう風に書こう。。。と考えているうちに、先生に先を越されてしまいました～

昨日は富山赤十字病院でのロビーコンサートでした。
この日に向けて、一生懸命練習してきました。いよいよ、その成果発表の日ということです。

病院の入口に「入院うるおい生活事業　女声合唱団クランツ・カーネーション　によるコンサート」と、案内がはってありました。「ふ～んコンサートは『事業』なんだ～やっぱり、施設とは味わいが違うもんなんだな～」と、ちょっと緊張感が…。2階のロビーに行き、並び方などの確認をしました。ロビーの長椅子は向きを変えられてステージの方を向いています。

控室は3階でした。きれいなお姉さんが「時間になったら声をかけますので、準備してお待ちください」と言われました。1 時半からのリハーサルで、声だしはばっちり。あとは本番でがんばるのみです。ところが、「まだあまり人が集まってないので、もうしばらく・・・」とのこと。
「え。。。だれもいない所で歌うっていうのも…さびしいねぇ～」とだれかが呟きます。何となくうらさびしい気分になってきました。数人しかいなかったらどうしよう…。

予定時間を 5 分くらい過ぎて、開始の運びになりました。パープルスカートをハタハタとさせながら右手には国旗を持って整列。「なんだ、結構集まってくれてるじゃない(^_-)-☆」最初は「世界がひとつになるまで」です。歌いだしてソプラノが♪ラン・ララン・・・♪のところへさしかかると、なんとよく響くではないですか突然上手になったような気分に！想像以上によく響く会場で、嬉しくなりました。

前々日から風邪ひきさんになってしまった、司会担当のメンバーの声も、ちょいハスキーながらよく響き、ハタで聞いていても気分良く次の曲へ。「ドナ・ノービス・パーチェム」何度も何度も練習を重ねた曲です。あの苦心惨憺が報われますように・・・・と祈るような気持ち。「おお～イケルイケル…(^^)v」一番響きを大切にしたいミサ曲は会場の天井に響き、数割増しのきれいさに聞こえてきます

続いて「クリスマスファンタジーメドレー」へ。「もろびとこぞりて」「ジングルベル」は、元気よく歌えて良かった良かった☆でたとこ勝負のような「ああベツレヘムよ」先生とメンバーと息をつめるような集中力で歌い、なんとかクリア。難関の「きよしこの夜」緊張感でいっぱいのうちに終わり得意の「もみの木」までたどりつき、ほっと一息つきました。

オリジナル曲「小さな贈り物」「花の心　愛の心」は歌い慣れてる曲とはいえ、先生の元職場でのコンサートなので、特にすてきな歌にしたいという思いで、ソプラノ練習をがんばってきました。でも、ソプラノメンバーがもう少し練習時間がとれていたらな～と、心残りを抱きながらの本番でした。それでも先週、今日直前のリハーサルが功を奏したのと、会場の響きに助けられ「心の中に愛の花を咲かせよう」という気持ちが伝わった！ のではないかと思います(^^)v。

次の「花は咲く」は、ガーベラの花を手にして歌いだしたらカメラのフラッシュが次から次へ と光り、「あれっ？！私たちひょっとしてスターになってる？！ 」と、カンチガイしてしまいそう～。NHKテレビの威力を借りた演出大当たりで、会場もなんだか盛り上がっている雰囲気。観客のみなさんの視線と期待が、いっせいに吹きつけられてきました。「こ・これは頑張って歌わなきゃ～」と、メンバーみんなが感じたのではないでしょうか。もう、上手とか下手とかいう事ではなく、会場のみなさんの気持ちと、私たちの気持ちが一体になったような高揚感でした。

その気持ちのままラストの 2 曲へ。「見上げてごらん夜の星を」は、高揚感のまま歌い、歌い慣れてる歌が響きでいっそうきれいに感じられ、会場のみなさんも歌ってくれて感動がこみあげてきました。おまけに次の「ふるさと」はオカリナがゆったり会場いっぱいに響き渡り、シーーーーーンとした中オカリナの音は、会場にいる人たちみんなの心に沁みこんでいくようです。ガーベラの花を会場の方たちにさし上げながら「ふるさと」をみなさんと一緒に歌い終了。おつかれさま～クランツのみんなで、心をひとつにして全力を注いだ爽快さでいぱいでしたね。あ～だから、コーラスはやめられない！

富山赤十字病院のみなさまお世話になりました。会場においで頂いたみなさま、ありがとうございました。感動的でとても楽しいひとときを、過ごさせていただきました m(__)m

国旗を振りながら♪世界がひとつにな～るまで～♪

ガーベラの花を手に・・・

オカリナが会場に響きわたります

は一っ、全力出し切ったねーーー
先生方ありがとうございました。みなさんおつかれー(^O^)／